

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 栗東市社会福祉協議会

※令和4年度 事業報告、総括

令和4年度も上半期を中心として前年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により一部事業の実施方法の変更を行った他、休業、休職、失業、収入が減少した世帯への特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）の相談対応にあたりました。

その中でも深刻かつ複雑な課題を抱えておられる方については、CSW（コミュニティソーシャルワーカー）がアプローチし、必要な機関や本会並びに栗東生活支援協議会の食糧支援等につなぐなど対応しました。

なお本貸付については、令和4年9月末で終了し、当初に貸付を受けられた世帯からの償還が令和5年1月より開始となっていますが、本貸付をもっても生活状況が改善せず、償還の免除や今後の生活面について中長期的に相談、支援にあたっていくことが全国的な取り組みとなります。

関連して、前年度と同様、家庭等から使いきれない食品を提供いただく「フードドライブ」や、生活困窮などの状況にある方へ食品を無料で提供する「フードパントリー」などに取り組みました。

小地域福祉活動へも影響を及ぼし、地域ささえあい推進員を中心として、進め方を迷っておられる地域の活動者を支援するとともに、コロナ感染が落ち着いている時期には、新たに活動を興そうとしている人材の発掘と支援のための講座等の実施に努めました。

新型コロナの感染状況は落ち着いていますが、3年に亘るコロナ禍に加え物価高騰は、経済状況や人々の暮らしに大きな影響を与えるとともに当面はこの影響が続くこととなります。この間、地域や人同士のつながりが弱まりましたが、今後はそれらを再度繋いでいくことが求められます。

また事業の特性上、密が避けにくい老人福祉センター事業、デイサービス事業（通所介護事業、身体障がい者デイサービス事業、隣保館デイサービス事業）、学童保育所事業についても感染拡大や予防対応をしながら運営にあたりました。

人々の暮らしに大きな影響を与えるとともに、人と人とのつながりが疎遠になりがちですが、令和3～4年度基本方針（事業計画）にも記載したとおり、このような状況であるからこそ、繋がりや相談支援といった地域福祉の重要性と必要性が求められています。

以上、令和4年度の事業のポイントを中心とした総括とし、今後も「つながろう つなげよう 安心のまち りっとう」を基本理念に、今後も地域福祉活動の推進を図ってまいります。実施した事業や活動の詳細については、次頁以降のとおりです。

事項別事業

1. 会務の運営

社会福祉法人としての社会的責務を果たし、適切な運営を図るとともに、事業や地域福祉の推進のため、次の会議を開催しました。

(1) 理事会の開催 (いずれも、なごやかセンターで開催)

期 日	出席数	議 案 等
令和4年6月16日	理事 6名 監事 2名 職員 5名	第1号議案 令和3年度事業報告について 第2号議案 令和3年度一般会計補整予算及び資金収支決算について 第3号議案 評議員会への提出案件について 【全議案可決】 ○協議、報告事項 ・第三者委員の選任報告
12月12日	理事 4名 監事 2名 職員 6名	第4号議案 社会福祉法人栗東市社会福祉協議会顧問の選任について【可決】 ○協議、報告事項 令和4年度上半期事業・決算報告、評議員会への提出案件について/会長・常務理事の上半期業務報【了承】
令和4年3月22日	理事 6名 監事 2名 職員 6名	第4号議案 令和4年度補正予算について 第5号議案 令和5年度事業計画について 第6号議案 令和5年度予算について 第7号議案 評議員会への提出案件について 【全議案可決】

(2) 評議員会の開催 (いずれも、なごやかセンターで開催)

期 日	出席数	議 案 等
令和4年4月26日 【書面審議】	評議員 8名	第1号議案 理事の選任について【可決】
6月30日	評議員 7名 理事 2名 監事 2名 職員 6名	第2号議案 令和3年度事業報告について 第3号議案 令和3年度一般会計補整予算及び資金収支決算について 【全議案可決】
12月20日	評議員 8名 理事 2名 監事 2名 職員 5名	令和4年度上半期事業・決算報告【了承】

令和4年3月29日	評議員 6名 理事 2名 監事 2名 職員 4名	第4号議案 令和4年度補正予算について 第5号議案 令和5年度事業計画について 第6号議案 令和5年度予算について 【全議案可決】
-----------	-----------------------------------	--

(3) 監事会の開催（なごやかセンターで開催）

期 日	出席数	内 容
令和4年6月9日	監事 2名 理事 1名 職員 5名	令和3年度事業及び決算監査（社協及び共同募金委員会）
11月24日	監事 2名 理事 1名 職員 6名	令和4年度上半期事業及び決算監査 （社協及び共同募金委員会）

(4) 正副会長会の開催（なごやかセンターで開催）

期 日	内 容
令和4年6月13日、12月7日、令和5年3月14日	理事会・評議員会提出案件の協議
上記の他、月1回定例で管理者会議として開催 令和4年4月7日、5月12日、7月7日、8月9日、 9月8日、10月14日、11月10日、 令和5年1月10日、2月7日	執行上の協議

(5) 運営協議会の開催

期 日		議 案 等
令和4年9月2日	【書面送付 に変更】	令和3年度事業、決算報告について

その他、地域福祉活動計画（案）に関する意見照会を書面により実施。

(6) 調整会議兼（組織・運営）検討会の開催

本会の中長期的な財政見通しや運営、職員配置等を検討し、適切な運営体制を構築すべく検討会を実施しています。（調整会議兼検討会）

令和4年6月28日、9月27日、11月22日、令和5年1月27日、3月3日、22日

(7) 会議・研修等の開催、出席

月	社協・市・関係機関等	県・湖南 他
定期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理者会議、常務理事・課長・課長補佐調整会議兼検討会、事業課会議、ヘルパ一定例会、市役所各担当課との定例協議(各月1回) ・ 各課内会議 ・ 学童保育所常勤指導員会議 ・ 栗東市民生委員児童委員協議会連合会役員会、正副会長会 ・ 生活困窮者自立相談支援調整会議(各随時) ・ 栗東市要保護児童対策地域協議会実者会議(毎月定例) 	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体自治会長会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 湖南地域社会福祉連絡協議会役員会 ・ 草津・栗東安全運転管理者協会監事会 ・ 市町社協地域福祉・相談支援担当部課長会議
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栗東市事業所人権教育推進協議会総会【書面審議】 ・ 訪問介護センターなでしこ介護・医療連携推進会議 ・ 栗東市地域教育協議会 ・ 栗東市人権・同和教育推進協議会総会 ・ 栗東100歳大学アドバイザー会議 ・ 済生会支部滋賀県済生会地域懇談会 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栗東市バス対策地域協議会 ・ 栗東市地域福祉計画委員会 ・ 栗東生活支援協議会理事会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉施設を活用した子どもの夜の居場所フリースペース実施施設職員等の交流会 ・ 地域福祉権利擁護事業生活支援員/新任職員研修会 ・ 市町社会福祉協議会生活福祉資金実務研修会 ・ 滋賀県生活支援コーディネーター基礎研修 ・ 第56回滋賀県知的障がい者教育福祉振興大会第2回実行委員会

		<ul style="list-style-type: none"> ・社協が取り組む「子ども食堂」との協働実践研修会 ・滋賀県共同募金会配分委員会 ・滋賀県認知症介護実践者研修 ・滋賀県相談支援従事者初任者研修
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東市子ども・子育て会議【書面送付開催】 ・ケアマネジャー向け高齢者虐待防止研修 ・平和祈念式典栗東市戦没者追悼式実行委員会 ・栗東市令和4年度協働事業提案制度・元気創造まちづくり事業実施団体及び未来へつなぐ市民活動応援事業支援希望団体の募集説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアセンターコーディネーター基本研修 ・滋賀県共同募金会配分委員会 ・第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会栗東市準備委員会設立総会ならびに第1回総会 ・市町社会福祉協議会会長会総会【書面審議】 ・滋賀県認知症介護実践者研修 ・滋賀県相談支援従事者初任者研修
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東市民生委員推薦会 ・栗東市表彰審査会 ・栗東市立ひだまりの家運営審議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県認知症介護実践者研修 ・滋賀県相談支援従事者初任者研修
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・第6期栗東100歳大学 ・平和祈念栗東市戦没者追悼式 	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県相談支援従事者初任者研修 ・社会保険実務講習
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・第6期栗東100歳大学 ・栗東市高齢者の生きがいと健康づくり推進大会栗東市高齢者グランドゴルフ大会 ・栗東市フードドライブ ・地域福祉権利擁護事業、実地調査 ・栗東市障がい者の住みよいまちづくり推進協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・湖南地域社会福祉連絡協議会幹事会 ・栗東市地域福祉計画検討会 ・滋賀県視覚障害者運動会 ・湖南圏域における居場所推進助成にかかるミーティング
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・じんけんひろば ふれあい文化祭 ・済生会支部滋賀県済生会地域懇談会 ・第24回高齢者生きがい実践交流会 ・特例貸付利用者に対する償還支援を入口とした生活困窮者支援に係る緊急事務局長会議 ・栗東市障がい児・者自立支援協議会発達支援部会 	<ul style="list-style-type: none"> ・重層的支援体制整備事業の多機関協働にかかる勉強会 ・滋賀県共同募金会配分委員会 ・滋賀県市町社会福祉協議会会長会職員部会交流会 ・滋賀県社会福祉協議会 法人設立70周年記念式典 ・滋賀県知的障がい者教育福祉振興大会

	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東市地域福祉計画委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアにかかる研修会
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員児童委員委嘱状伝達式 ・総合福祉保健センター防火対策委員会、消防総合訓練 ・これからの栗東を考える集い共有会・交流会（重層的支援体制整備事業） ・栗東市人権擁護審議会 ・栗東市介護給付適正化支援事業ケアマネジメント研修「看取り支援におけるケアマネジメントの視点～実践ポイントを知って看取り支援に自信をつけよう～」 	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀縣市町社会福祉協議会 会長・事務局長合同会議 ・滋賀縣市町社会福祉協議会会長会 中間マネジャー研修 ・地域福祉権利擁護事業課長・専門員会議 ・滋賀県内社協 新任職員研修ならびに接遇研修 ・ケアマネジャー向け高齢者虐待研修 【ZOOM】
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・総合福祉保健センター防火対策委員会、消防総合訓練 ・栗東市障がい児・者自立支援協議会発達支援部会 ・栗東市要保護児童対策地域協議会代表者会議 ・栗東市自殺対策推進協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町社会福祉協議会事務局長会議【オンライン】 ・オンラインセミナー シンポジウム「地域共生社会の実現に向けた展望と課題～地域における支援体制の構築～」
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・第6期栗東100歳大学卒業式 ・栗東市障がい者の住みよいまちづくり推進協議会 ・栗東市立ひだまりの家運営審議会 ・栗東市バス対策地域協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・湖南地域社会福祉連絡協議会役職員研修会 ・法テラス滋賀地方協議会 ・成年後見制度利用促進法における中核機関の役割と実務研修 ・重層的支援体制整備事業にかかる勉強会 ・副安全運転管理者講習 ・市町共同募金委員会事務局長会議 ・滋賀県共同募金会配分委員会 ・滋賀県社会福祉学会 ・同行援護従業者養成研修（(応用課程)
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・元気創造まちづくり・未来へつなぐ市民活動応援事業成果報告会 ・栗東市社会貢献活動促進基金補助金運営委員会 ・栗東市地方創生懇談会 ・社会福祉法人あうん評議員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀縣市町社会福祉協議会会長会トップセミナー ・湖南地域社会福祉連絡協議会幹事会 ・湖南地域社会福祉連絡協議会監査 ・K-ねっと全国セミナー「最期まで自分らしく」を支えていくために～福祉関係者のための任意後見の基礎知識～ 【ZOOM】

	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービス苦情解決研修会 ・ひきこもり支援を考えるフォーラム ・滋賀県共同募金会配分委員会 ・滋賀県共同募金会評議員会 ・滋賀県社会福祉協議会評議員会
--	---

2. 広報等啓発活動の展開

社会福祉協議会活動の啓発、住民の社会福祉に対する意識高揚を図るため「栗東ふくし」を全戸配布した他、ホームページによる啓発を行いました。

また、広報の作成とともに社協全般の広報活動について職員が協議する場として広報委員会を設置し、開催しています。

- (1) 広報紙「栗東ふくし」の発行 6回（奇数月1日発行、全戸配布）
- (2) ホームページの運営、公式LINEの運用
- (3) 広報委員会の開催（毎月1回）

各部署からの職員で構成する広報委員会により、「栗東ふくし」広報の編集やホームページ内容等について協議、検討を行いました。

- (4) 第50回栗東市社会福祉大会の開催

地域福祉の推進・向上に多大な貢献や多額の浄財を寄附いただきました個人並びに団体を表彰し、その功績を称えました。

令和5年2月18日 9:30～12:00 なごやかセンター 165名参加

・式典・被表彰者表彰

【栗東市社会福祉協議会会長表彰】

社会福祉功労者 52名、優良福祉活動団体 6団体、
社会福祉事業協助者 1名・2団体・1社

【滋賀県共同募金会栗東市共同募金委員会会長表彰】

共同募金協助者 1名・1団体

共同募金啓発ポスター最優秀者 1名、優秀賞 3名、佳作 5名

（表彰審査会を令和4年12月16日に開催）

・記念講演

支援者も必見！「ひきこもり支援から学ぶ 親子関係を良好にするコミュニケーションの実践」

講師：訪問看護ステーション和来（わらい）代表取締役 佐崎航大氏

3. 心配ごと相談事業

市民の方が専門相談などで気軽に相談できる体制を図りました。今後の方向性について、相談員からアドバイスをいただく形で、心配ごとの解決への糸口をつかむものとして開設しています。

	開設日	相談件数
専門相談		
法律相談	第2・4木曜日	97件
司法書士相談	毎月20日	31件
税金相談	第2水曜日(5,7,9,11,12,1,2,3月)	21件
電話・窓口相談	随時(職員対応)	192件
合計		341件

4. 地域福祉権利擁護事業【滋賀県社会福祉協議会からの受託事業】

軽度の認知症高齢者、知的障がい、精神障がいのある方等で自らの判断能力に不安がある場合、あるいはひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、寝たきりの高齢者、重度身体障がい者等、日常生活を営むうえで権利侵害を受ける等の課題がある場合に、福祉サービスの利用援助、日々の金銭の出し入れ、書類等の預かりサービスを実施しました。福祉・行政・医療等、様々な関係機関と連携を図りながら、援助を進めています。

	相談・援助件数	契約件数	本年度新規契約件数
認知症高齢者	2,896件	11件	2件
知的障がい者等	1,989件	20件	0件
精神障がい者等	2,448件	17件	2件
その他	358件	4件	0件
計	7,691件	52件	4件

●関連会議等への参加

期日	内容	場所等
令和4年 5月12日	地域福祉権利擁護事業担当課長会議	長寿社会福祉センター
5月27日、 6月9日、14日	地域福祉権利擁護事業生活支援員/新任職員研修会	長寿社会福祉センター
7月11日	京都信用金庫における地域福祉権利擁護事業の日常的な金銭管理サービスの取扱いに関する説明会	長寿社会福祉センター

8月17日	地域福祉権利擁護事業専門員会議	長寿社会福祉センター
10月25日	地域福祉権利擁護事業課長・専門員連絡会	長寿社会福祉センター
12月14日	地域権利擁護事業担当課長・専門員会議	長寿社会福祉センター
令和5年 2月3日	成年後見制度利用促進法における中核機関の役割 と実務研修	さきら
2月3日	湖南地域社会福祉連絡協議会役職員研修会 「権利擁護事業と成年後見制度」	守山市社協

5. 小地域福祉活動の推進

令和4年度は幾分落ち着いたとはいえ、前年度に引き続きコロナ禍により、小地域におけるふれあいサロン等の開催が困難な状況が続きました。

そのような状況の中、地域ささえあい推進員が中心となり、進め方を迷っておられる地域の活動者を支援するとともに、新たに活動を興そうとしている人材の発掘と支援のための講座等の実施に努めました。

(1) 出前講座等の実施

※その他、地域への関わり状況については、**12. 高齢者福祉活動** (5) 生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター）の項と資料編1参照。

(2) 地域振興協議会事業への助成及び参画（地域福祉活動支援事業）

地域福祉活動計画に基づき、「つながろう つなげよう」の視点から各地域振興協議会事業の企画、運営について「地域ささえあい推進員」が協力体制をとり、会議等への参加とともに、事業に対する助成を行いました。

【申請、助成状況】

学区	内容
治田学区	<p>治田ふれあい農園</p> <p>治田学区地域振興協議会ふれあい農園主催で、例年秋に予定している治田ふれあい広場の一環として、地域の方々や治田学区の幼児及び学童がサツマイモの栽培を通して交流できる場とする。加えて自然にふれあうことにより、自然の仕組みや豊かさを学ぶ場として企画。</p> <p>10月頃に苗を委嘱した参加者でサツマイモを収穫する。収穫したサツマイモはふれあい広場で焼き芋に加工して参加者に配付する。または一般に販売をする。</p> <p>〈治田ふれあい農園サツマイモ苗植え体験作業・収穫体験作業、治田ふれあい広場にてサツマイモ販売〉</p>

<p>治田東学区</p>	<p>「支え合いのまちづくり推進事業」</p> <p>地域共生社会実現のために介護保険では補えない、高齢者の日常生活における支援のニーズをアンケート調査により把握し、これからの治田東学区のまちづくりに活かし、地域でささえあう体制を整える。</p> <p>11月 アンケートの作成、12月 65歳以上のアンケート実施（3or4自治会）自治会長に説明会の実施、1月 アンケート集約・考察、2月 報告会を実施</p> <p>アンケート結果は昨年分も含め現在策定中の「治田東学区まちづくり計画」の参考にする。また次年度以降、他の自治会に広げる。</p>
<p>金勝学区</p>	<p>「地域の課題を地域住民で語り合おう!!」</p> <p>地域福祉活動支援を地域の課題として捉え、特に高齢者のふれあいや生きがいづくりを支援し、また高齢者の社会参加を促進することによって社会的孤立感の解消を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シニア卓球教室、花サロン、夏休みお楽しみ会、ノルディックウォーク、グラウンドゴルフ大会、講演会、健康ボウリング大会
<p>葉山学区</p>	<p>「つながろう葉山 地域の絆を深めよう」活動推進事業</p> <p>葉山学区の地域住民の子どもから大人・高齢者の皆さんがコミセン葉山にくつろぎの場として、楽しみの場として、癒しの場としてより多くの方に来ていただける居場所づくりとする。</p> <p>癒しのロビー空間開設、花いっぱい運動事業、図書室の充実（特に絵本や児童書）、一人暮らし高齢者宅への訪問、見守り事業</p>
<p>大宝学区</p>	<p>「花いっぱい運動」～快適環境を創造するまちづくり～</p> <p>日々多くの方の利用があるJR栗東駅をまちの玄関口の学区としてふさわしくなるよう、全自治会あげて花の植栽による快適環境を創造する。</p> <p>通学路点検～通学路を歩いてみよう～</p> <p>学区内には中山道が通っており、道幅は狭く車の通行量も多い。子どもの通学や高齢者の日常生活における事故防止啓発活動を行う。</p>
<p>大宝東学区</p>	<p>「安心・安全・環境部会の地域安全点検における事故防止啓発活動」</p> <p>大宝東学区における住民相互の連帯感を育み、地域社会活動への参加意識を高め、安心・安全活動の充実で交通事故防止と啓発活動の推進で地域の課題等を解決していく。</p> <p>〈大宝東学区通学・通園路点検〉</p> <p>子どもたちを交通事故から身を守るために、地振協では通学・通園路の点検活動を実施する。主に「子ども110番の旗」設置宅・事業所での旗交換と対応マニュアルの配布。また「飛び出し注意ぼうや」が破損・摩耗・紛失していないか点検と</p>

	その交換。また、点検時は「子ども 110 番の旗」を設置されているお宅・事業所へは新型コロナウイルス感染拡大防止のため文書で案内し、地域で子どもを守るよう努めている。
大宝西学区	<p>「地域の防災対策充実化事業」</p> <p>災害発生時の救助活動に必要な不可欠な災害用担架を各自治会に配備して防災機材の整備充実を図り、当該担架を活用した防災訓練を実施することにより地域住民の防火意識を高め、もって、災害発生時における地域住民の生命、身体を守ることを目的とする。</p> <p>災害発生を想定し、各自治会で災害用資器材を活用した防災訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安否確認訓練 <p>自治会の隣組単位で、出来るだけ短時間で各戸の安否確認を行う。</p> <p>各隣組長は自治会長に、自治会長は地振協会長（コミセン）に出来るだけ早く要救助者の有無を報告し、負傷者の早期発見と救出訓練を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救出訓練 <p>災害活動用のボールによる救出訓練、担架による負傷者の搬送訓練を行う。</p>

(3) 地域福祉活動計画委員会

第2次地域福祉活動計画（平成30年度から5年間）の進捗状況と第3次同計画の策定について計画委員会を開催しました。

令和4年6月24日 コミュニティセンター治田東

- ・委員長、副委員長の選出について
- ・第2次栗東市地域福祉活動計画の進捗状況について
- ・第3次栗東市地域福祉活動計画の策定について

令和4年11月29日 コミュニティセンター治田東

- ・第3次栗東市地域福祉活動計画に係るアンケート結果について
- ・第3次栗東市地域福祉活動計画の体系（案）及び骨子（案）について
- ・第3次栗東市地域福祉活動計画の構成（案）について

令和5年3月17日 なごやかセンター

- ・第3次栗東市地域福祉活動計画（案）に係る意見聴取及びパブリックコメント募集の結果について
- ・第3次栗東市地域福祉活動計画（案）について

地域福祉活動計画職員ワークショップ 令和4年10月26日 なごやかセンター

○サロン交流会

令和 5 年 3 月 24 日（金） 13:30～15:30 なごやかセンター集会室 32 名参加

（内容）

- ・ 令和 4 年度のサロン活動紹介 中沢サロン・友遊クラブ（平葉）各代表より
- ・ 生活支援ボランティアについて
栗東市いきいき活動ポイント事業 個人宅支援活動者の紹介
- ・ 情報交換会 参加者同士でグループワーク

○地域のつどい場づくり応援講座（後述）

令和 4 年 6 月 4 日（土）、13 日（月）、18 日（土）、25 日（土）

6. 社協会費

本会の活動趣旨に賛同し、物心両面で福祉活動に参加いただき、地域の福祉課題をみんなで解決していけるよう、会員制度を設け、地域福祉の向上にご協力をいただいています。

会費種別	当初予算額	実績額
一般会費（各戸に 1 世帯 700 円として依頼）	6,000,000 円	5,261,106 円
賛助会費（各事業所に 1 口あたり 5,000 円として依頼）	1,200,000 円	1,158,935 円
サポート会費（一口あたり 1,000 円として依頼）	170,000 円	202,000 円

7. 善意銀行事業

皆様からの善意の金銭・物品の寄付窓口として開設しました。

預託額（一般・指定） 64 件 2,109,624 円 物品預託 104 件

8. 民生委員児童委員活動との連携

地域福祉活動を推進するために、民生委員児童委員との連携を深め、情報提供、交換等研鑽につとめました。

- ① 民生委員児童委員協議会連合会との連携
- ② 総会、正副会長会、役員会、定例会、専門部会活動等への出席
- ③ 小地域福祉活動の推進と啓発

9. 生活援護活動

○CSW（コミュニティソーシャルワーカー）活動（資料 2 参照）

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、緊急小口資金、総合支援資金の特例貸付の申請が数多く寄せられ、地域福祉課職員すべてが相談を受けられる体制を敷いてきました（同貸付制度は令和 4 年 9 月末をもって終了）。

その中でも深刻かつ複雑な課題を抱えておられる方について、CSW（コミュニティソーシャルワーカー）が改めてアプローチし、必要な機関や本会並びに栗東生活支援協議会の支援（食糧支援等）につなぐといった活動を行いました。

と同時に、令和2年度以降は貸付というツールを通して、潜在化していた課題（特に非正規雇用の方の労働・雇用状況の脆さ）、外国籍の方の悩み、8050問題、子どもに関する悩み等々）、本会とこれまでつながりのなかった方々の課題が見えてくることもあり、今後の支援の在り方を考えるきっかけとなりました。

なお、特例貸付制度は令和4年9月末で終了し、今後は償還に関する相談と共に、同貸付をもっても生活状況が厳しい世帯からの相談にも対応する必要があります。

また、コロナに起因することだけでなく、複合的な課題を抱えた方の支援を関係機関や地域の方から依頼されたり、またこちらから必要な機関に相談やつなぎをしたりと、本人の了解のもと必要な機関や支援者と共有しながら支援を進めてきました。

今後についても、相談支援を行っていくことはもちろん、包括的な支援体制の構築の一端を担うべく、他機関と連携しながら支援をすすめていきます。

電話対応 295件、訪問・同行 9件、面談 74件、共有・報告 1件、会議・協議 16件、その他 39件

○総合相談 令和4年6月13日（月）13:00～17:00 市役所2階第1会議室

○滋賀県生活福祉資金貸付事業【滋賀県社会福祉協議会からの受託事業、各市町社会福祉協議会が相談・申請窓口として実施】

低所得世帯、高齢者世帯、障がい者世帯を対象に、相談支援とともに本資金貸付申請については、民生委員児童委員と連携をとりながら、自立更生、生活援護に必要な資金の貸付を行いました。

資金種別	本年度新規貸付	
①総合支援資金	—	—
②福祉資金福祉費	—	—
③教育支援資金	22件	35,856,000円
④緊急小口資金	1件	100,000円
計	23件	35,956,000円

○新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金の特例貸付【県生活福祉資金貸付事業の一環、滋賀県社会福祉協議会からの受託事業、各市町社会福祉協議会が相談・申請窓口として実施】

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入減少、休業、失業等により生計の維持が困難となった世帯に対し、緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付を行いました（令和2年3月25日から開始、令和4年9月末で貸付終了）。

当初貸付世帯については令和5年1月から償還開始対象となっていますが、本貸付をもって生活状況が改善しない方、償還自体が困難な方（償還免除の方を含む）については今後、県社協、行政とともに生活面に関する相談に対応していきます。

○特例貸付状況

資金種別	令和4年度貸付状況		令和2年3月末からの貸付累計	
	貸付件数	貸付金額	貸付件数	貸付金額
① 緊急小口資金	43件	8,500,000円	993件	187,240,000円
② 総合支援資金	30件	156,150,000円	755件	397,150,000円
③ 延長分総合支援資金	—	—	295件	156,700,000円
④ 再貸付総合支援資金	—	—	456件	245,060,000円
計	73件	24,150,000円	2,572件	986,150,000円

●特例貸付等関係会議への出席

期 日	内 容	場所等
令和4年5月18日	コロナ特例貸付償還業務説明会	長寿社会福祉センター
6月17日	生活福祉資金実務研修会	長寿社会福祉センター
令和5年1月25日	市町社協事務局長会議	オンライン

○緊急つなぎ資金貸付事業【本会独自事業】

平成30年度より、生活保護や生活福祉資金の申請者を対象に、適用されるまでの間等において、手持ち金が少なく、生活に支障をきたす恐れがある場合に、緊急かつ一時的に生活つなぎ資金を貸し付けることにより、生活の安定を図ることを目的とした「緊急つなぎ資金貸付事業」（本会独自事業）を実施しています。

本年度対応 貸付件数2件、貸付金額合計 40,000円

○緊急食料・衣料等提供事業【本会独自事業】

市内に居住する生活困窮者等が、緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に食料・衣料等の生活に必要な現物（食料・衣料等）を提供することにより、世帯の自立を促し、地域社会の一員として円滑な社会生活が送れるように支援します。

本年度対応：16件

○「栗東くらしの応援便」【本会独自事業、市補助あり】

コロナ禍により休業や出勤日数減、また退職等による収入の減少のため、日々の生活が大変厳しくなられた世帯の方を対象に、「緊急小口資金」「総合支援資金」の特例貸付を実施していますが、それだけでは厳しい状況も見受けられます。

市内の貸付を受けられた世帯、また、その他特に必要とされる世帯について、緊急的に食糧を支援する「栗東くらしの応援便」を実施しています。

基本的に1名1回の支援で、米、レトルトやインスタント食品等を交付。

○フードドライブ（栗東市主催、栗東市社会福祉協議会・栗東生活支援協議会協賛）

各家庭で使いきれない、食べきれない食品を寄附いただき、本会（栗東生活支援協議会）を通じて困っておられる方や福祉関係団体等に交付。

令和4年10月25日、26日 アルプラザ栗東及び市役所で実施

菓子類、米・餅類、缶詰・びん詰類、乾物、インスタント食品、調味料、飲料、計401点を預かり。25日25名、26日17名、計42名来場。

○フードパントリー

フードパントリーとは、生活困窮者やひとり親家庭など、何らかの理由で十分な食事をとることができない状況の人々に食品を無料で提供する支援活動のことです。

栗東市在住の方で、新型コロナウイルス感染症等の影響により生活にお困りの世帯の方に、食料などをお渡ししました。

米、カップ麺、パスタ、缶詰、スープ、レトルト職、菓子、飲料、果物、マスク、携帯用カイロ、ウェットティッシュ、生理用品等を配布

毎月第3月曜日～金曜日（祝祭日除く）

・令和4年11月18日 30世帶來所、19日、11世帶來所、計41世帯
それぞれ、なごやかセンターで実施

配布対象：市内在住、コロナ禍や物価高騰の影響により、生活に困窮している世帯。

○生活困窮者自立支援事業

◆家計改善支援事業【市受託事業】

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた相談支援を実施するとともに、生活困窮者の家計再生のために、家計収支全体の改善を図り、家計等に関する相談支援を行いました。

・家計改善支援事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
相談件数	120 件	73 件	130 件	131 件	201 件	137 件	114 件	227 件	215 件	151 件	127 件	179 件
利用者数	8名	8名	8名	8名	8名	8名	9名	9名	8名	8名	8名	8名

電話メール 989 件、訪問・同行支援 5 件、面談 565 件、所内会議 16 件、
他機関との会議 24 件、他機関との電話照会・協議 709 件、その他 118 件（3 月末現在）

●関連会議等への参加

期 日	内 容	場所等
毎月第 4 水曜日	栗東市生活困窮者自立支援調整会議	市役所
令和 4 年 6 月 13 日, 9 月 13 日,12 月 13 日, 令和 5 年 3 月 17 日	総合相談事業	市役所

●ひきこもり支援関係

○「ひきこもり支援を考えるフォーラム」

（湖南地域ひきこもり者支援フォーラム実行委員会主催）

（草津市社協、守山市社協、栗東市社協、野洲市社協、滋賀県社協、若者自立支援ボランティア Group 居場所の会「レリーフ」）

令和 5 年 3 月 12 日 13:30～15:30 参加者 88 名、スタッフ 10 名

湖南広域消防局 北消防署 2 階多目的研修室（守山市）

コミュニティセンター防災センター

「長期高齢化するひきこもり者に家族や支援者は何ができるか

～当事者から語る 8050 問題～」

講師：ぼそっと池井多 氏

●関連会議、研修等

期 日	内 容	場所等
令和 4 年 9 月 1 日、11 月 4 日、 令和 5 年 3 月 2 日、23 日	ひきこもり支援を考えるフォーラム実行委員会	守山市社協
9 月 6 日	「ひきこもり一斉電話相談にかかる研修会」	長寿社会福祉センター
9 月 15 日	ひきこもり一斉電話相談	栗東市社協

10月26日	湖南圏域における居場所推進助成にかかるミーティング	ZOOM 会議
令和5年1月10日	「ひきこもり者支援者ネットワークしが」	長寿社会福祉センター
1月14日	ヤングケアラーの問題を考える ～子どもが子どもでいられる社会に。私たちができること～	ZOOM 研修
2月7日	「ひきこもり一斉電話相談にかかる研修会」	ZOOM 研修
2月9日	ひきこもり一斉電話相談	栗東市社協

◆子どもの学習・生活支援事業【市受託事業】

学習支援として「べんきょう会」の実施（生活困窮者支援対応）
経済的にハンディのある主に中学生・高校生に対するの居場所づくり、学習支援と共に生活習慣の定着、会話の中から思いや悩みを汲み取り必要な支援につなげます。

対象：市内の中学生・高校生（ゆうあいの家及びコミュニティセンター葉山東の2カ所で実施）

サポーターとして、学童保育所指導員、ボランティア（教員免許所持者等）等数名が対応。

場所：ゆうあいの家 実施日：毎週金曜日、17:00～20:00（8月の3日間は10:00～13:00）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施回数	4回	4回	4回	5回	4回	4回	4回	4回	4回	4回	4回	5回
参加者数												
生徒	4名	7名	7名	8名	10名	5名	6名	6名	5名	6名	7名	8名
サポーター	7名	10名	9名	13名	14名	12名	13名	10名	13名	11名	12名	16名

場所：コミュニティセンター葉山東 実施日：毎週木曜日、17:00～20:00

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施回数	4回	3回	5回	4回	3回	5回	4回	3回	4回	4回	3回	5回
参加者数												
生徒	4名	4名	10名	5名	5名	9名	7名	8名	10名	10名	8名	11名
サポーター	9名	8名	10名	6名	7名	10名	9名	9名	12名	11名	9名	15名

電話・メール 75件、訪問・同行支援 3件、面談 35件、所内会議 21件、
他機関との会議 24件、他機関との電話照会・協議 55件、その他 15件（3月末現在）

◆生活困窮者就労準備事業【市受託事業】

介護等の職場における就業体験を通じて、就労意欲を高め、就業支援・経済的自立につなげる。通所介護なごやかで1名受入。

○女性のための居場所「まろん de さろん」

市内居住の女性の居場所づくりとして、令和3年12月より毎月第3火曜日の10:00～14:00、なごやかセンター和室に開設。

令和4年度 12回開催 延べ23名、実人員11名 8月～3月は制作活動を実施

- ・過ごしかたは自由。ワンドリンク・電子レンジを設置し、飲食可。
- ・傾聴ボランティア、精神科看護師の配置
- ・制作（季節のかざり作り、簡単な手芸等）
- ・必要な方には生理用品の配布
- ・個別の相談がある場合は、別途相談対応

◆子ども食堂（市内実施の子ども食堂への支援等）（資料3参照）

滋賀の縁創造実践センターモデル事業として始まり、家庭の事情で寂しさやしんどさを抱えている、あるいは食事をゆっくり食べられない子どもたちの居場所として現在市内10カ所で子ども食堂が開設されています。本会も立ち上げや実施に支援（情報交換や物資等）を行いました。

なお、滋賀県内では令和4年11月10日時点では170カ所で子ども食堂が開設されています。

○関連事業等

期 日	内 容	場 所 等
令和4年 8月9日	栗東子ども食堂スタッフ研修&交流会（栗東生活支援協議会）	ゆうあいの家
10月8日	りっとう「子ども食堂」フェスタ（ボランティアなごやかまつりに併せて開催）	なごやかセンター
12月12日	「地域における子ども食堂等の“居場所”の大切さを学ぶ」研修	近江八幡総合福祉センターひまわり館
令和5年 3月18日	子ども食堂（子供の居場所づくり）サミット（湖南ロータリークラブ）	JA こうか ここぴあ

●栗東生活支援協議会「ふるさと生活サポート応援隊」関連

栗東ロータリークラブ、栗東ライオンズクラブ、栗東青年会議所をはじめ、市内やその周辺に立地する社会福祉を目的とする団体・個人、福祉活動に理解ある企業等をもって組織し、本会（栗東市社会福祉協議会）と連携し、市内の生活困窮者、とりわけ次代を担う青少年を対象に、資金・物資・労力・技術及び情報等をもとに支援活動を行っています。

令和元年度から、栗東市内において生活に課題を抱えるご家庭やその子どもたちの支援団体として、関係機関、企業、法人、行政等のご理解をいただき、また連携を図りながら、「ふるさと生活サポート応援隊」（栗東生活支援協議会）を設立し継続的な支援を進めています。

【主な取り組み】

緊急食料セットの交付、子ども食堂等の活動資金助成事業、緊急つなぎ資金貸付事業、支援ボランティアの人材バンク、就労体験事業、就職活動支援（制服のリユースやリクルートスーツの貸出）等

なお、コロナ特例貸付申請の相談の中で生活状況が特に厳しい方への対応として、「生活支援協議会」において米、缶詰、レトルト食品、マスク等をセットとして交付しました（各物品の在庫状況により内容は変動）。

- 対象：・子どもの学習・生活支援事業登録者、家計改善支援事業利用者及びその世帯
・市社会福祉課生活困窮係、子育て応援課（家庭児童相談室）等が必要であろうと判断される方、ひとり親世帯等
・緊急小口資金等を申請された方で、生活再建の目途がたたない方及び世帯

○「ふるサポ♡安心便」【新規事業】

新型コロナウイルス感染症の拡大など様々な理由や、経済的な事情により衛生用品（生理用品）を購入できない女性の存在、いわゆる「生理の貧困」問題が報道されており、安心して生活していただける一助として、同用品の支援を行いました。

○就学応援便【新規事業】

新年度、高校や大学等に進学、進級される際、経済的な理由から県社協の教育支援資金を借りられた方（令和3年度同資金貸付決定世帯）に対し、「プラスワン！ 就学応援便」として、

- ・図書カード（参考書、参考文献等購入のため）

高校入学 5,000円 7名、大学・専門学校入学 10,000円 18名

家計に余裕が無いため、学校の費用を賄うことが難しく貸付を申し込まれているため、

新学期が始まるこの時期に支援を行うことで、学生生活をスムーズにスタートできる一助として。

10. ボランティア市民活動センターの運営【市補助事業】（資料編4参照）

ボランティア市民活動を推進するために、ボランティア市民活動センターの果たす役割は大きく、ニーズに対してのコーディネート、ボランティアや市民活動団体との連携、情報交換を図り、研修会、講座を開催しました。

(1) 相談・登録・調整・紹介事業

- ・相談件数：316件
- ・登録数：登録グループ：86グループ 1,239名
登録サロン：59グループ 487名
個人ボランティア 30名 計1,756名
- ・備品・図書・体験用具の貸出：41件
- ・登録団体活動支援、活動室貸館：283件
- ・ボランティア保険の受付
- ・「栗東ふくし」広報にボラセンページの設定、ホームページの活用等、ボランティア情報の発信

(2) 人材育成事業

●福祉教育

- 市内小中学校への福祉学習案内（12校訪問）
- メールマガジンの発行（31回）
- 滋賀県レイカディア大学「地域活動体験学習」4月～5月
- センター職員によるボランティアセンターについての講義 7名

○各講座の開催（なごやかセンターで開催）

期日	参加数	内容他
令和4年 9月26日 13:30～16:00	19名	「ボランティアきっかけ講座」 「-ボランティアを楽しもう!-そもそもボランティアってなに？ 気持ちよく活動するには？」 講師：大坂ボランティア協会 市居利絵氏
10月14日 13:30～15:00	22名	「災害ボランティア入門講座」 「-みんなで支えあう、人口減少・災害多時代の地域づくり-」 講師：ローカリズム・ラボ代表 井岡仁志

令和4年 11月29日、 12月6日 10:00～11:00 13:30～14:30	12名 19名	スマホ教室 ～スマホの基本操作について～ ～スマホをもっと楽しもう（応用編）～ 講師：ドコモショップ栗東店スタッフ
--	------------	--

(3) 連携・協働事業

●栗東市介護者の会支援（総会、役員会、研修会他）

○総会、役員会、他事業

期 日	参加数	内 容
令和4年4月28日	7名	役員会
5月6日	3名	相談役委嘱
5月31日	33名	総会（書面議決）
6月16日	7名	役員会
8月22日	6名	役員会
9月30日	10名	おたのしみ会（ハーモニカグループの演奏）
10月4日	9名	生き方カフェ
10月13日	9名	生き方カフェ
10月17日	4名	生き方カフェ
10月18日	6名	役員会
12月13日	6名	役員会
令和5年1月26日	7名	おたのしみロさん 知っ得講座 「認知症の人のすごし」永島正勝氏
2月7日	8名	役員会
2月24日	12名	お楽しみサロンⅠ ハーモニカ演奏
3月28日	12名	お楽しみサロンⅡ ハーモニカくらの演奏

●栗東市心身障がい児・者レクリエーション・スポーツ大会支援

障がい児（者）および家族等が地域のボランティアとともにレクリエーション・スポーツ大会等を通して体力の維持・向上を目指しながら各関係団体との相互の親睦を深め、社会参加促進および地域ボランティアの育成を図ることを目的とした団体との連携・支援として実施し、平成26年度より事務局として運営しています。

期 日	参加数	内 容
令和4年4月20日	15名	第1回実行委員会
5月16日	18名	第2回実行委員会
6月13日	19名	第3回実行委員会
6月25日		レクリエーション・スポーツ大会（雨天中止）
7月13日	15名	第4回実行委員会 特別企画事業について
8月3日	14名	第5回実行委員会 特別企画事業について
8月29日, 31日	12名	ブルーベリー収穫体験（パレットミル農園）
9月1日, 2日	8名	シャインマスカット収穫体験(おもや農園) (9月1日は雨天中止)

(4) 交流・啓発事業

●「ボランティアなごやかまつり」

ボランティア市民活動の活性化および市民との交流やふれあいを深めること、ならびに、より多くの市民にボランティアや老人福祉センターを周知・啓発することを目的として開催していますが、今年度はコロナ禍により規模縮小のうえ、10月8日（土）9:30～12:00に開催しました（荒天やコロナ禍により4年ぶりの開催）。

- ・ボランティアステージ発表
- ・ボランティア登録団体ボランティアポスター展示
- ・物販
- ・模擬店（テイクアウト）
- ・ボランティア体験 等
- ・赤い羽根共同募金の啓発コーナー

期 日	参加数	内 容
令和4年5月19日	6名	三役会 まつり打ち合わせ
6月21日	33名	実行委員会
8月18日	6名	三役会 まつり打ち合わせ
8月23日	33名	実行委員会
9月29日	6名	三役会 まつり打ち合わせ

1.1. 高齢者福祉活動

要介護高齢者が住みなれた地域で安心して暮らしていくために、福祉・保健の連携を図り、地域住民やボランティア等の協力を得ながら、地域福祉活動、在宅福祉サービスに取り組みました。

(1) 隣保館デイサービス事業「ひだまりひろば」【市受託事業】(資料編 11 参照)

要介護認定で「自立」と認定された概ね 65 歳以上の高齢者、サービスが必要な方に対して、ひだまりの家でデイサービスの提供を行いました。

実人数：46 名、延利用人数：2,024 名、1 回平均：9.9 名

(2) いきいき活動ポイント事業【市受託事業】

60 歳以上の市民が事前登録により、介護支援活動を行うことで、地域住民主体の通いの場や互助の充実を推進するとともに、社会参加活動を通じた高齢者等自身の介護予防の推進を図ることを目的として実施。介護支援活動に対してはポイントが付与され、換券により買い物券に交換、あるいは活動団体への寄付（活動費等に充当）ができる制度です。

コロナ禍での活動自粛に翻弄された登録者の意識を活発にするべく「栗東ぐるり見守り隊養成講座」(3 回シリーズ)では、地域福祉活動に役立つ講座を開催しました。

百歳体操は、ある程度の休止期間を経て再開されてきましたが、フレイルを予防し高齢者自身の介護予防に役立っている。加えていきいき活動ポイント付与があることで、地域活動を活性化させています。コロナ禍であっても、百歳体操受入団体のいきいき活動登録など、自身の介護予防を柱に、地域での助け合いを支援する本制度によって、人々の意識の変化がみられます。

登録説明会を実施した他、「栗東ぐるり見守り隊」養成講座を開催しました。

自身の介護予防を柱に、地域の助け合いを支援するこの制度によって、人々の地域での助け合いが自主的に「やりたい」、依頼されたことをするだけでなく、「どこかに困っている方はいないか？」と積極的に関わる姿勢への変化がみられます。

○登録説明会の開催

期 日	参加数	開催場所
令和 4 年 4 月 8 日	1 名	ボランティア市民活動センター
4 月 11 日	2 名	
5 月 9 日	3 名	辻公民館
5 月 18 日	2 名	ボランティア市民活動センター
6 月 2 日	1 名	

6月28日	1名	ボランティア市民活動センター
7月27日	3名	
9月16日	3名	
令和5年2月24日	2名	
延べ計	18名	

○研修会（講座）の開催（なごやかセンターで開催）

期日	参加数	内容他
令和4年 7月12日(火) 13:30~15:00	36名	「栗東ぐるり見守り隊 見守り傾聴養成講座」 「傾聴のスキルとルール こんな時代だからこそ…心に効く、聴く耳を持つことの大切さ（重要性）」 講師：公益社団法人おうみ犯罪被害者支援センター 副理事長・支援局長 松村裕美氏
7月28日(木) 10:00~12:00	37名	「栗東ぐるり見守り隊 私のできることを増やしてみる元気が出る養成講座」 「～こんな時代だからこそ…笑う地域に福祉あり やっぱり私の地域が一番～」 講師：大道芸人 たつきゅうさん
12月7日(水) 13:30~15:00	35名	「栗東ぐるり見守り隊養成講座」 こんな時代だからこそ つながって、はじめて持てる、安心感 「人のつながりこそ何よりの備え」 ・南草津マンション防災委員会の活動紹介 ・活動を通じて考える「人のつながり」や「地域づくり」について 講師：南草津マンション防災委員会 代表 江藤沙織氏 (JA レーク滋賀 桃季館にて開催)

○ボランティア養成講座の開催（なごやかセンターで開催）（再掲）

期日	参加数	内容他
令和4年 9月26日(月) 13:30~16:00	19名	「ボランティアきっかけ講座」 「-ボランティアを楽しもう!-そもそもボランティアってなに？ 気持ちよく活動するには？」 講師：大坂ボランティア協会 市居利絵氏

10月14日 (金) 13:30~15:00	22名	「災害ボランティア入門講座」 「みんなで支えあう、人口減少・災害多時代の地域づくり」 講師：ローカリズム・ラボ代表 井岡仁志
------------------------------	-----	--

○同事業、登録状況（令和5年3月31日現在）

受入施設指定決定数	
介護保険施設（老人福祉センター3件含む）	23件
障がい者福祉施設	2件
いきいき百歳体操	43件
地域高齢者サロン	35件
グラウンドゴルフ	5件
給食ボランティア	2件
子ども食堂	3件
認知症カフェ（介護保険施設数と重複）	1件
ボランティア在宅受入希望個人登録者	35名
ボランティア登録者（個人登録者数）	547名
活動予定内容	
施設ボランティア希望者	191名
百歳体操でのボランティア希望者	279名
サロンでのボランティア希望者	268名
個人宅ボランティア希望者	159名
（内訳は延べ人数を標記、活動場所が複数登録の場合あり）	

- (3) 生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター）【市受託事業】（資料編1参照）
地域の高齢者を中心とした支え合い活動等の体制整備の推進として、同事業を平成30年度から事業受託しています。

令和4年度は比較的落ち着いたとはいえ、新型コロナウイルス感染拡大の影響が地域の福祉活動に影響を及ぼし、地域の福祉活動を中止、延期されるところが多くみられた状況でした。

地域ささえあい推進員は、地域の活動者とのつながりを絶やさず、支援するとともに、新たに活動をはじめきっかけづくりの場として「地域のつどい場づくり応援講座」等の実施に努めました。

また、毎月定例で市長寿福祉課の第一層生活支援コーディネーターと協議の場を持ち、情報共有し、指導を受けながら進めています。

○取り組み内容

1. 集いの場づくりを担う人材の養成
 - ① 「地域のつどい場づくり応援講座」の開催
 - ② 「地域で使える折紙アート教室」の開催
 - ③ 「見守りあいサポーターフォローアップ講座」の開催
2. 新たに活動を興そうとしている人材の発掘と支援
 - ①活動団体や活動者同士の開催
 - (1) サロン交流会の開催
 - (2) 民生委員児童委員協議会との情報共有等
(出前講座 見守りあい活動等の推進)
 - ②栗東市いきいき活動ポイント事業との協働
3. 新たな活動への集中的支援
 - ①出前講座の実施
 - ②新たな地域活動の立ち上げ支援
 - ③「見守りあい活動」の推進
4. 日常的に行われている住民同士の助け合い活動などの支援、顕在化
 - ①地域活動に関する相談窓口の充実と活動支援
 - ②地域で日常的に行われている活動の顕在化ならびに活動継続支援
5. 市内各種団体との連携

○地域のつどい場づくり応援講座（場所はいずれも、なごやかセンター集会室）

期 日	内 容	参加数
令和4年 6月4日	「地域のつどい場とは…魅力発見」 龍谷大学非常勤講師 扇田宗親氏	27名 (他、講師、職員等10名)
6月13日	「地域包括ケアシステムから期待する力とは」 栗東市役所長寿福祉課 小松紘之氏 身近にある地域のつどい場のご紹介 はるひがキッズカフェ、「咲くら」フレイル予防、 子育てサロン CoCo 愛	26名 (他、報告者、職員等9名)
6月18日	身近にある地域のつどい場のご紹介 サロン辻ヶ花、栗東ふぁざーず倶楽部、子育てサ ロンぽっけ	20名 (他、報告者、職員等8名)
6月25日	「自分のやりたいことを考えてみよう」 龍谷大学非常勤講師 扇田宗親氏	21名 (他、講師、職員等9名)
計		94名

●研修会への参加

期 日	内 容	場所等
令和4年6月29日	滋賀県生活支援コーディネーター基礎研修	ZOOM 研修
9月1日、2日	いきがい・助け合いサミット in 東京 (4名)	ZOOM 研修
11月9日	しが住民参加支え合い活動連絡会	ZOOM 研修
12月19日	第1回生活支援コーディネーター学習・情報交換会	草津商工会議所
令和5年3月2日	第2回生活支援コーディネーター学習・情報交換会	ZOOM 研修

(4) 市老人クラブ連合会活動協力

1.2. 老人福祉センター事業 【指定管理事業（平成31年度～令和5年度）】

(資料編5参照)

高齢者をはじめ、住民の皆様のコミュニケーションの場、健康増進や教養の向上の場として、新型コロナウイルス対策として検温、消毒などの感染拡大防止策を徹底しながら運営を行っています。

	やすらぎの家	ゆうあいの家	なごやかセンター
団体	99 団体 658 名	203 団体 2,713 名	266 団体 5,957 名
個人	7,501 名	11,649 名	9,325 名
合計	8,159 名	14,362 名	15,282 名
利用1日平均	35.2 名	58.1 名	65.0 名
内、宿泊	無し	無し	無し
内、巡回バス	1,991 名	1,553 名	1,672 名
巡回バス利用1回平均	10.8 名	8.1 名	8.7 名

○利用者会議の開催（令和4年度利用状況報告等）

- ・やすらぎの家 令和4年11月9日、令和5年3月8日
- ・ゆうあいの家 令和5年3月10日
- ・なごやかセンター 令和4年11月【書面開催】、令和5年3月9日

○ゆうあいの家25周年記念イベント

令和4年11月15日（火）～18日（金）ステージ発表、ゲーム、展示コーナー

1.3. 介護保険事業及び介護予防・日常生活支援総合事業

各介護保険事業の実施の他、平成29年度の制度改正により、要支援の方については総

合事業へ移行となったことから、本会において訪問介護事業及び通所介護事業により対応しています。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底しながら、運営を行っています。

(1) 居宅介護支援事業（資料編 6 参照）

居宅サービス計画の作成と各サービス提供事業者との調整、サービスの実施状況及び課題の把握、給付管理、要介護認定等の協力・援助、契約者からの相談対応を実施しました。

利用実人数：104名、延人数：1,099名

(2) 訪問介護事業（資料編 7 参照）

要介護者・要支援者に対し、居宅において可能な限り自立した日常生活が送れるよう身体介護、家事援助サービスを実施しました。

利用実人数：13名、延人数：309名

(3) 通所介護事業（資料編 9 参照）

要介護者・要支援者に対し、社会的孤立の解消及び心身機能の維持並びに利用者、家族の身体的・精神的負担の軽減をはかることを目的として実施しました。

- ・やすらぎ 利用実人数：38名、延人数：5,090名
- ・ゆうあい 利用実人数：48名、延人数：4,659名
- ・なごやか 利用実人数：44名、延人数：4,467名

○通所介護年末入浴の実施 令和 4 年 12 月 29 日（木）

【現状】

前年度と比較すると、居宅介護支援事業は実績増、訪問介護事業はほぼ同額で推移、通所介護事業 3 館トータルでは、実績減となっています。

1.4. 心身障がい者（児）福祉活動

障がい者（児）の自立と福祉活動への参加を促進するため、相談及び活動援助の推進を図りました。

(1) 居宅介護事業【市受託事業】（資料編 8 参照）

居宅介護：12世帯、家事援助：376回、身体介護：197回、通院介護：57回
同行援護：10世帯、延回数：387回

(2) 身体障がい者デイサービス事業【市受託事業】（資料編 10 参照）

利用実人数：14名、延人数：810名

(3) 特定相談支援事業【市受託事業】(資料編 12 参照)

障がい福祉サービスの申請に係るサービス等利用計画案を作成し、サービスの利用状況を確認、計画の見直しやサービス事業者等との連絡調整にあたりました。

利用数 延 264 件

(4) 車イスの貸出：延 117 件

(5) 障がい者団体等への活動援助

15. 児童福祉活動

(1) 学童保育所事業 【指定管理事業（令和4年度～8年度）】(資料編 13 参照)

保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学生を対象として、授業の終了後、適切な遊びや生活の場を与え、児童を健全育成しています。

○利用者数（10学童保育所合計）：延べ 8,776 名

月別利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	711	762	758	760	755	749	730	723	708	694	685	681

○令和5年度、学童保育所入所関係

- ・申請書交付および第1次受付期間 令和4年11月1日～24日
- ・一次募集において定員を超えたため不承認となった方のみの申請受付
令和5年1月5日～13日（治田東、大宝、大宝東学童
- ・第2次募集（金勝、大宝、大宝東、大宝西学童保育所）
令和5年1月23日～2月3日
- ・入所説明会 令和5年1月末～3月に各所で実施

(2) 栗東市要保護児童対策地域協議会実者会議への出席（毎月1回）

16. 職員採用試験の実施

部門	職種	実施回数	実施日
地域福祉	事務職員	7回	令和4年6月2日、10月18日、19日、21日、26日、11月9日、24日
通所介護	介護職員	2回	令和4年6月12日、8月17日

	看護職員	2回	令和4年6月9日、令和5年3月7日
居宅介護支援	ケアマネジャー	1回	令和5年2月7日
学童保育所	常勤指導員	7回	令和4年4月4日、21日、8月19日、 10月11日、12月15日、 令和5年1月10日、2月20日
	非常勤指導員	3回	令和4年4月4日、21日、7月12日、
他、学童保育アルバイト指導員・登録介護・看護職員については随時面接を実施			

1.7. 職員研修等の実施

●学童指導員研修関係

期 日	参加数	内 容
令和4年6月22日	10名	心肺蘇生法（普通救命講習Ⅰ） 場所：湖南広域消防局中消防署
6月23日	10名	
6月24日	9名	
6月27日	9名	
6月28日	10名	
6月29日	9名	
7月4日	10名	
7月6日	79名	
7月11日	37名	学習会 基礎研修 講師：菩提寺学童保育所指導員
9月28日	70名	学習会 職員研修 「食べ物アレルギーについて」（エピペンの使用方法について） 講師：滋賀県立小児保健医療センター 吉弘径示氏（小児アレルギーエデュケーター・アレルギー疾患療養指導士）
10月5日・6日	8名	滋賀県放課後児童クラブ施設長研修
11月14日	48名	学習会 基礎研修 「子どもとの関わりと自分自身への言葉かけ」（セルフペップトーク）講師：日本ペップトーク普及協会 土田政代氏
11月16日	3名	滋賀県放課後児童クラブ事故防止研修 オンライン研修
12月8日	91名	学習会 人権研修「子どもの虐待について」 講師：NPO 法人子どもの虐待防止ネットワーク・しが理事 中島円実氏

令和5年1月19日	58名	学習会 防犯研修「学童保育所における防犯対策について」 講師：草津警察署生活安全課 山元陽明警部補
2月9日	1名	滋賀県 地域における防災教育に関する研修会 「子どもへの防災教育についてのポイント」 講師：NPO 法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ 森谷哲氏 「キッズ防災やっています」講師：むさっこ食堂 石田幸代氏
2月14日	50名	学習会 保育実践報告検討会 「一人ひとりの思いを大切にすること」 「AくんとBちゃんとの仲直り」 報告者・助言者：学童保育所総括、所長、副所長、元学童保育所 コーディネーター
2月24日	6名	栗東市人権・同和研修「コロナ差別について」
2月28日	1名	栗東市人権・同和研修「聴覚障がいと栗東市手話言語条例及び 栗東市市民をつなぐ情報・コミュニケーション条例」
3月2日	2名	栗東市人権・同和研修「全国水平社について」
3月9日	1名	滋賀県 災害から子どもを守る研修会 「日ごろからできる防災管理」 講師：兵庫県立大学客員教授 諏訪清二氏
令和4年6月25日、 7月10日、9月16日、 23日	15名	滋賀県放課後児童支援員等資質向上研修 A (5年未満)
令和4年7月10日、 9月6日、7日、17日、 23日	12名	滋賀県放課後児童支援員等資質向上研修 B (5～10年未満)
令和4年7月10日、 9月6日、9日、17日、 23日	5名	滋賀県放課後児童支援員等資質向上研修 C (10年以上)
令和4年11月～ 令和5年2月	常勤・ 非常勤 指導員	保育実践交流 広く他所の保育・指導員間連携・保護者対応等 を実践形式で学ぶ。
令和4年11月～ 令和5年2月	12名	滋賀県放課後児童支援員認定資格研修 4日間受講

18. 共同募金運動（栗東市共同募金委員会）

○赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動状況

	赤い羽根共同募金運動	歳末たすけあい募金運動
募金運動期間	10月1日～12月31日	12月1日～12月31日
目標額	5,800,000円	3,000,000円
実績額（対予算）	4,825,780円（83.2%）	2,779,457円（92.7%）

コロナ禍により、街頭募金は縮小しJR栗東駅・手原駅のみで実施。

○関連会議の開催（いずれも、なごやかセンターで開催）

（1）理事会の開催

期 日	出席数	議 案 等
令和4年6月16日	理事 6名 監事 2名 職員 5名	第1号議案 令和3年度事業報告について 第2号議案 令和3年度収支決算について 第3号議案 評議員会への提出案件について 【全議案可決】
12月12日	理事 4名 監事 2名 職員 6名	第4号議案 滋賀県共同募金会栗東市共同募金委員会会長の選任 【可決】 ○協議、報告事項 令和4年度上半期事業・決算報告、評議員会への提出案件について【了承】
令和5年3月22日	理事 6名 監事 2名 職員 6名	第5号議案 令和4年度補正予算について 第6号議案 令和5年度事業計画について 第7号議案 令和5年度予算について 第8号議案 評議員会への提出案件について 【全議案可決】

（2）評議員会の開催

期 日	出席数	議 案 等
令和4年4月26日 【書面審議】	評議員 8名	第1号議案 理事の選任について【可決】
6月30日	評議員 7名 理事 2名 監事 2名 職員 6名	第2号議案 令和3年度事業報告について 第3号議案 令和3年度収支決算について 【全議案可決】
11月9日 【書面審議】	評議員 8名	第4号議案 理事の選任について【可決】

12月20日	評議員 8名 理事 2名 監事 2名 職員 5名	○協議、報告事項 令和4年度上半期事業・決算報告【了承】
令和5年3月29日	評議員 6名 理事 2名 監事 2名 職員 4名	第5号議案 令和4年度補正予算について 第6号議案 令和5年度事業計画について 第7号議案 令和5年度予算について 【全議案可決】

(3) 理事会・評議員会（合同）の開催

期 日	出席数	協議・報告事項内容
令和4年7月22日	理事 7名 評議員 6名 職員 4名	令和4年度共同募金運動の計画とすすめ方、令和4年度事業分の共同募金助成金、令和4年度歳末たすけあい募金について【了承】

(4) 監事会の開催（再掲）

期 日	出席数	内 容
令和4年6月13日	監事 2名 理事 1名 職員 5名	令和3年度事業及び決算監査（社協及び共同募金委員会）
11月24日	監事 2名 理事 1名 職員 6名	令和4年度上半期事業及び決算監査 （社協及び共同募金委員会）

(5) 募金運動検討委員会の開催

期 日	出席数	協議事項内容
令和4年7月7日	委員 7名 役職員 5名	令和4年度共同募金運動のすすめ方、共同募金を財源とした助成事業について

(6) 審査委員会の開催

地域で活動されている団体から、申請方式で提出いただき、地域福祉の推進に有効活用できるように審査委員会で審議の後、共同募金・歳末たすけあい募金を財源とした助成を行いました。経費の一部を助成し、その活動の支援を行いました。

なお、赤い羽根共同募金助成金交付式はコロナ禍により中止しました。

期 日	出席数	協議事項内容
令和4年6月14日	委員 7名 役職員 6名	審査基準について 「赤い羽根共同募金助成事業」申請団体について
12月2日	委員 7名 役職員 6名	「歳末たすけあい地域活動助成」申請事業、「歳末たすけあい見舞金」申請者世帯についての審査

●滋賀県共同募金会主催研修会・会議への参加

期 日	内 容	場所等
令和5年1月24日	令和4年度市町共同募金会担当者連絡会	ピアザ淡海
1月27日	令和4年度 年度末に向けた会計研修会	オンライン
令和5年2月17日	市町共同募金委員会事務局長会議	ピアザ淡海

19. 災害関連

●職員研修の実施

期 日	内 容	場所等
令和4年7月13日	HUG 講習	なごやかセンター

●関連研修会・会議への参加

期 日	内 容	場所等
令和4年6月7日	災害支援市民ネットワークしが 2022年度 第1回研究会	滋賀県立交流センター
7月21日	令和4年度災害ボランティアセンターコー ディネーター基本研修	滋賀県危機管理センタ ー
8月5日	災害支援市民ネットワークしが 2022年度 第2回研究会	草津市立市民交流プラ ザ（フェリエ南草津）